

川田テクノロジー株式会社(3443)

2025年3月期中間期

決算説明会

2024年12月5日 13:10～

おかげさまで川田グループは
2022年5月に創業100周年を迎えました。

過去も、現在も、これからも
川田グループは「いつの時代にも技術をもって社会に貢献すること」を使命とし、
さらなる「安心で快適な生活環境の創造」を進めてまいります。



本日お話しする内容

2 / 20

1. 2025年3月期中間期の業績
2. 〃 (セグメント別)
3. 2025年3月期の通期業績見通し
4. 配当方針の変更・配当予想ほか

1. 2025年3月期中間期の業績

2025年3月期中間期 決算のポイント

原価改善に努めたことに加え、大型工事竣工に伴う設計変更や当期後半に想定していた設計変更の早期獲得などで前年同期比売上微増も利益は大幅増。持分法投資損益も計画比上振れで経常・親会社利益も高い

(単位：百万円)

	2024年3月期中間期		2025年3月期中間期		増減(率)	当期業績見込み カッコ内修正前 ※1		中間期 当期見込 進捗率
	実績	売上比	金額	売上比		見込	売上比	
売上高	64,325	100.0%	66,430	100.0%	+2,104 (+3.3%)	130,000 (128,000)	100.0%	51.1%
売上総利益	8,507	13.2%	10,581	15.9%	+2,074 (+24.4%)	-	-	-
営業利益	3,096	4.8%	4,801	7.2%	+1,704 (+55.0%)	7,900 (5,800)	6.1%	60.8%
経常利益	3,695	5.7%	6,443	9.7%	+2,748 (+74.4%)	9,400 (7,200)	7.2%	68.5%
親会社株主に帰属する 中間（当期）純利益	2,594	4.0%	5,017	7.6%	+2,422 (+93.4%)	6,900 (5,200)	5.3%	72.7%
1株当たり中間（当期） 純利益 ※2	147.82円	-	290.82円	-	+143.00 (+96.7%)	398.96円 (301.88円)	-	72.9%

※1 2024/11/12付け発表値によります。カッコ内は前回値 ※2 前連結会計年度の期首に2024/4/1付株式分割が行われたとの仮定によります

財政状態、キャッシュフロー・受注・配当の状況

5 / 20

◎財政状態

(単位：百万円)

	2024年 3月期	2025年3月期 中間期	増減 (率・ポイント)
総 資 産	160,238	163,265	3,026 (1.9%)
純 資 産	82,363	85,792	3,429 (4.2%)
自己資本比率	51.1%	52.2%	+1.1 ポイント

◎キャッシュフロー

(単位：百万円)

	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	増減(率)
営 業 C F	7,118	△5,038	△12,157
投 資 C F	△859	△1,197	△337 (△39.3%)
財 務 C F	△8,215	4,781	12,997

◎受注 ※2

(単位：百万円)

	2023年 3月期	2024年3月期 中間期	2024年 3月期	2025年3月期 中間期	前期中間期 増減(率)
前期から繰越	146,334	154,364		154,730	366 (0.2%)
期 中 受 注	127,657	53,215	131,241	47,710	△5,504 (△10.3%)
期 中 販 売	119,626	65,038	130,876	67,369	2,331 (3.6%)
期 末 受 注 残	154,364	142,541	154,730	135,071	△7,469 (△5.2%)

◎一株当たり配当 ※1 (単位：円)

	2024年 3月期	2025年 3月期
中 間	-	45.00
期 末	131.00	55.00
合 計	131.00	100.00

※1 2024/4/1付株式分割が前期首に行われたとの仮定によります

※2 セグメント間の取引は相殺消去しておりません

1. 2025年3月期中間期の業績（セグメント別）

事業セグメントの概要

7 / 20

鉄 構

鋼製橋梁および建築鉄骨の設計・製作・架設据付、鋼材製品の販売



東京ゲートブリッジ（東京都）

土 木

PC橋梁、プレビーム橋梁の設計・製作・架設据付および橋梁保全工事請負



不動大橋（群馬県）

建 築

一般建築およびシステム建築の設計・工事請負



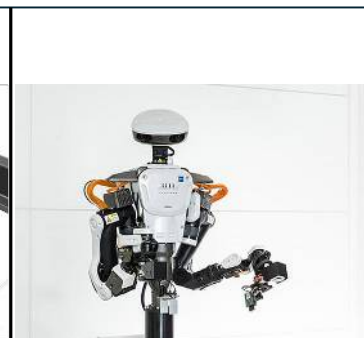
ポラテック西日本(株)滋賀工場（滋賀県）

ソリューション

- ①ソフトウェアの開発・販売およびシステム機器の 販売、橋梁等の構造解析および設計・製図
- ②各種機械装置、コンピューターシステムの開発・設計・販売およびコンサルティング
- ③次世代型産業用ロボット等の製造および販売



建設系3D CAD
V-nasClair



NEXTAGE

各セグメント 2025年3月期中間期 概況

8 / 20

鉄構・土木は進捗順調・設計変更獲得で増収増益も、建築は大型工事が設計段階で進捗せず減収減益

鉄構

鋼橋事業：受注堅調も大型受注の反動で前期比減。大型工事を中心に進捗順調。複数の設計変更計上で大幅増収増益
鉄骨事業：首都圏再開発計画はじめ計画遅延気味で受注苦戦。既受注分は順調に進捗、設計変更獲得もあり増収増益

→受注14,443百万円 (△9,699百万円 △40.2%)、売上高 31,597百万円 (+3,696百万円 +13.2%)
営業利益 2,695百万円 (+1,896百万円 +237.6%)

土木

国や地公体発注の新設工事で受注積み上げ前期比大幅増。昨年苦戦した高速道路会社の大型更新工事も成約。手持工事が順調に進捗し売上増加、竣工時の設計変更獲得もあって大幅増益

→受注19,454百万円 (+6,333百万円 48.3%)、売上高 20,952百万円 (+2,801百万円 +15.4%)
営業利益 1,828百万円 (+455百万円 +33.2%)

建築

大型物件の受注交渉継続中で期中の計上に至らず。工程初期(設計段階)の大型物件の影響大きく全体としては工事進捗伸びず。原価改善・設計変更獲得も振るわず大幅減収減益

→受注5,332百万円 (△2,445百万円 △31.4%)、売上高 6,610百万円 (△4,817百万円 △42.2%)
営業利益 393百万円 (△744百万円 △65.4%)

ソリ

ソフトウェア関連事業：自社製品引き続き好調。国交省発注量減を背景に受託設計の受注減少も、増収増益
ロボット関連事業：受注苦戦、売上伸びず減収。

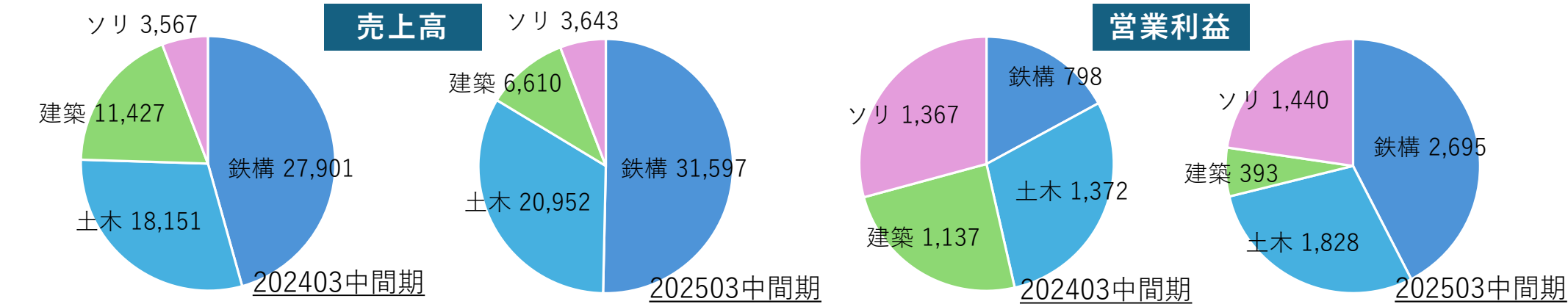
→受注3,733百万円 (+73百万円 +2.0%)、売上高 3,643百万円 (+75百万円 +2.1%)
営業利益 1,440百万円 (+73百万円 +5.4%)

※セグメント間の取引は相殺消去しておりません

2025年3月期中間期 セグメント別 P/Lサマリー

竣工大型物件ほかの設計変更獲得で鉄構・土木が前期比大幅増益。建築は工事進捗伸びず、ソリは安定成長
(単位：百万円)

	2024年3月期中間期			2025年3月期中間期			増減(率・ポイント)		
	売上高	営業利益	営利率	売上高	営業利益	営利率	売上高	営業利益	営利率
鉄 構	27,901	798	2.9%	31,597	2,695	8.5%	3,696 (13.2%)	1,896 (237.6%)	5.7ポイント
土 木	18,151	1,372	7.6%	20,952	1,828	8.7%	2,801 (15.4%)	455 (33.2%)	1.2ポイント
建 築	11,427	1,137	10.0%	6,610	393	5.9%	△4,817 (△42.2%)	△744(△65.4%)	△4.0ポイント
ソ リ ユ ー シ ョ ン	3,567	1,367	38.3%	3,643	1,440	39.5%	75 (2.1%)	73 (5.4%)	1.2ポイント



※セグメント間の取引は相殺消去しておりません

2025年3月期中間期 セグメント別 受注状況

鋼橋発注が前期比減の中、国・地公体発注物件で新規受注・設計変更獲得を積み上げたが、鉄骨は首都圏大型再開発プロジェクトを中心に計画遅延傾向あり、発注時期遅延により前期比大幅減。結果、鉄構セグは前期を大幅に下回る。土木セグは新設・更新工事ともに受注積み上げ、前期比大幅増。建築セグは設計中大型物件の受注計上が下半期以降へずれ込み。ソリセグは安定成長継続。

(単位：百万円)

	前期からの繰越			期中受注			期中販売			期末受注残高		
	前期首	当期首	増減(率)	前期 中間期	当期 中間期	増減(率)	前期 中間期	当期 中間期	増減(率)	前期 中間期	当期 中間期	増減(率)
鉄 構	84,990	87,561	2,571 (3.0%)	24,142	14,443	△9,699 (△40.2%)	27,901	31,597	3,696 (13.2%)	81,231	70,408	△10,823 (△13.3%)
土 木	49,100	45,184	△3,915 (△8.0%)	13,120	19,454	6,333 (48.3%)	18,151	20,952	2,801 (15.4%)	44,069	43,686	△383 (△0.9%)
建 築	16,526	17,862	1,335 (8.1%)	7,777	5,332	△2,445 (△31.4%)	11,427	6,610	△4,817 (△42.2%)	12,877	16,584	3,707 (28.8%)
ソ リ	3,355	3,498	142 (4.2%)	3,659	3,733	73 (2.0%)	3,567	3,643	75 (2.1%)	3,448	3,588	140 (4.1%)

※セグメント間の取引は相殺消去しておりません

2. 2025年3月期 通期業績の見通し

2025年3月期 通期業績見込み

中間期で大型物件や期中竣工物件で想定以上の設計変更を獲得、11/12付で業績上方修正発表
下半期における原価低減・設計変更の追加獲得を一定程度想定するも、見通し難しい。
利益水準は前期に近づいたが、一層の増益を目指す

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 (当期・見込) ※カッコ内修正前 ※2	増減額(率)		中間期における 期末見込進捗率
				23-24年	24-25年 (見込)	
売上高	118,086	129,127	130,000 (128,000)	11,041 (9.4%)	873 (0.7%)	51.1%
営業利益	5,025	8,734	7,900 (5,800)	3,709 (73.8%)	△834 (△9.6%)	60.8%
経常利益	6,298	10,538	9,400 (7,200)	4,240 (67.3%)	△1,138 (△10.8%)	68.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,231	7,541	6,900 (5,200)	3,310 (78.2%)	△641 (△8.5%)	72.7%
1株当たり 当期純利益 ※1	239.94円	434.06円	398.96円 (301.88)	194.12円 (80.9%)	△35.1円 (△8.1%)	72.9%

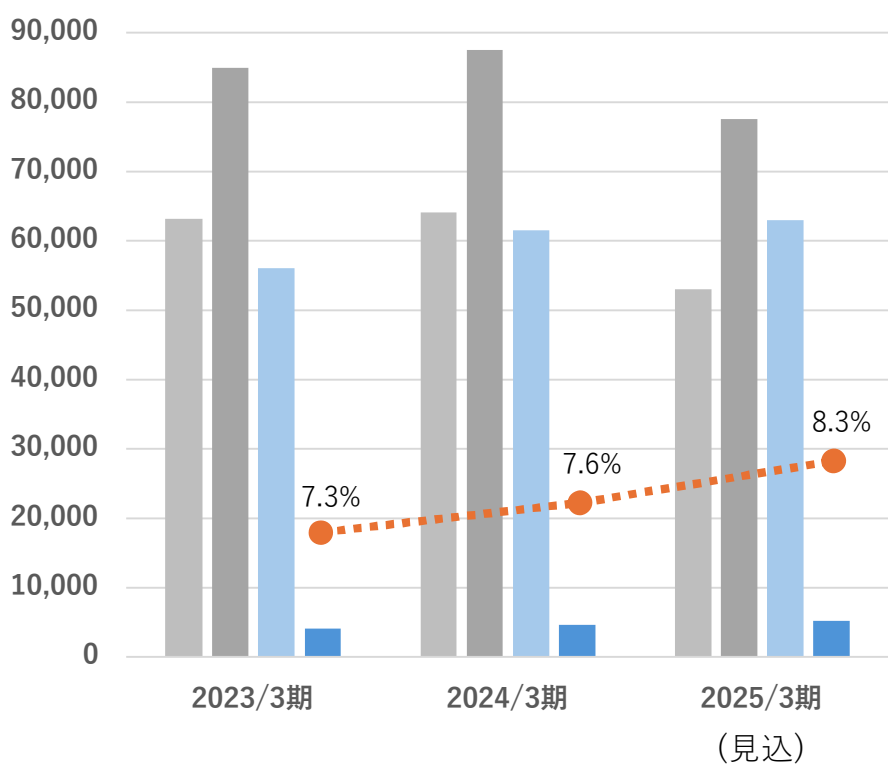
※1 2024/4/1付株式分割が表示期間期首に行われたとの仮定によります ※2 修正前値は2024/8/9発表値、現行見込みは2024/11/12発表値によります

2025年3月期 通期業績見込み ①鉄構セグメント

鋼橋事業：当年度発注量減も、引き続き国・地公体物件の受注積み上げ狙うほか、高速道路会社の大型プロジェクトの施工部分の受注を見込む。新設から更新・保全への市場シフト進む。更新・保全ほかの大型物件は比較的工期が長い物件が多く、単年度ベースでの売上への寄与は限定的。
また、構造的課題として、市場シフトに伴う工場製作量の減少への対応急ぐ

鉄骨事業：首都圏大型プロジェクトをはじめ、計画・工程の後ろ倒し傾向あり受注苦戦。既存物件は概ね順調に進捗で売上・利益に貢献を見込むも、担い手不足、資材高騰の影響は引き続き注視

(単位：百万円)



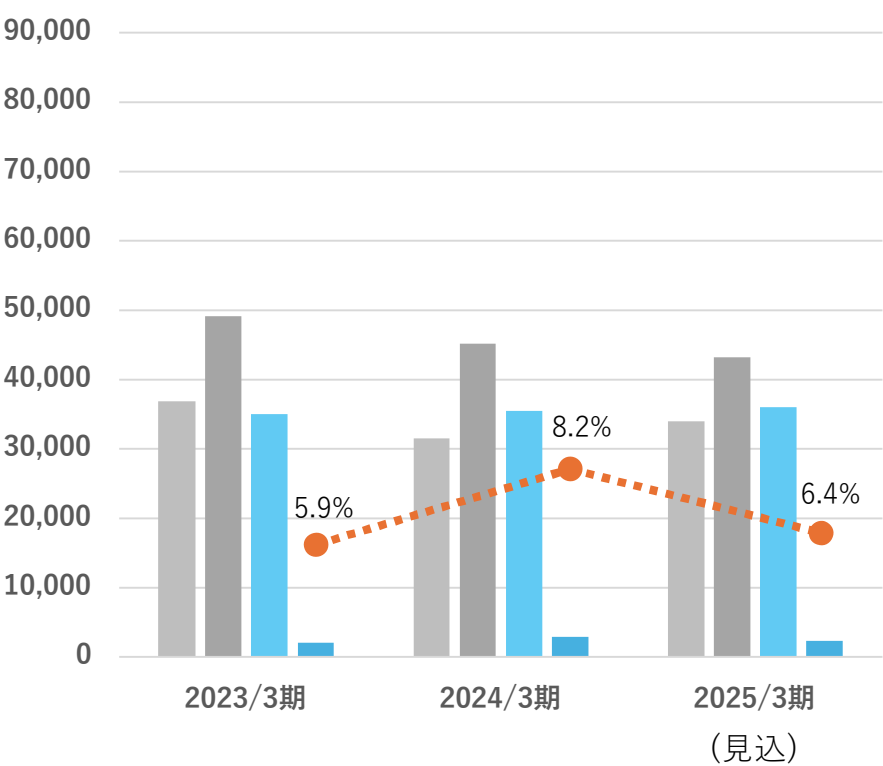
	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期 (見込)	増減(率)	
				23-24年	24-25年 (見込)
受 注 高	63,192	64,091	53,000	898 (1.4%)	△11,091 (△17.3%)
期 末 受 注 残 高	84,990	87,561	77,561	2,571 (3.0%)	△10,000 (△11.4%)
売 上 高	56,071	61,519	63,000	5,448 (9.7%)	1,481 (2.4%)
営 業 利 益	4,097	4,648	5,200	551 (13.5%)	552 (11.9%)
営 業 利 益 率	7.3%	7.6%	8.3%	0.3ポ イント	0.7ポ イント

※棒グラフは左から受注高、期末受注残高、売上高、営業利益、折線グラフは営業利益率を示します。セグメント間の取引は相殺消去しておりません

2025年3月期 業績見込み ②土木セグメント

国・地公体発注の新設物件を中心に受注積み上げ狙う。新設から更新・保全への市場シフト進行で当年度発注量全体に占める高速道路会社発注の大型床版取替工事の比重が大きい。発注はやや遅延気味だが受注は健闘。当年度中に竣工予定の物件が多く、竣工時期の設計変更獲得で原価率低減すべく鋭意努力。

(単位：百万円)



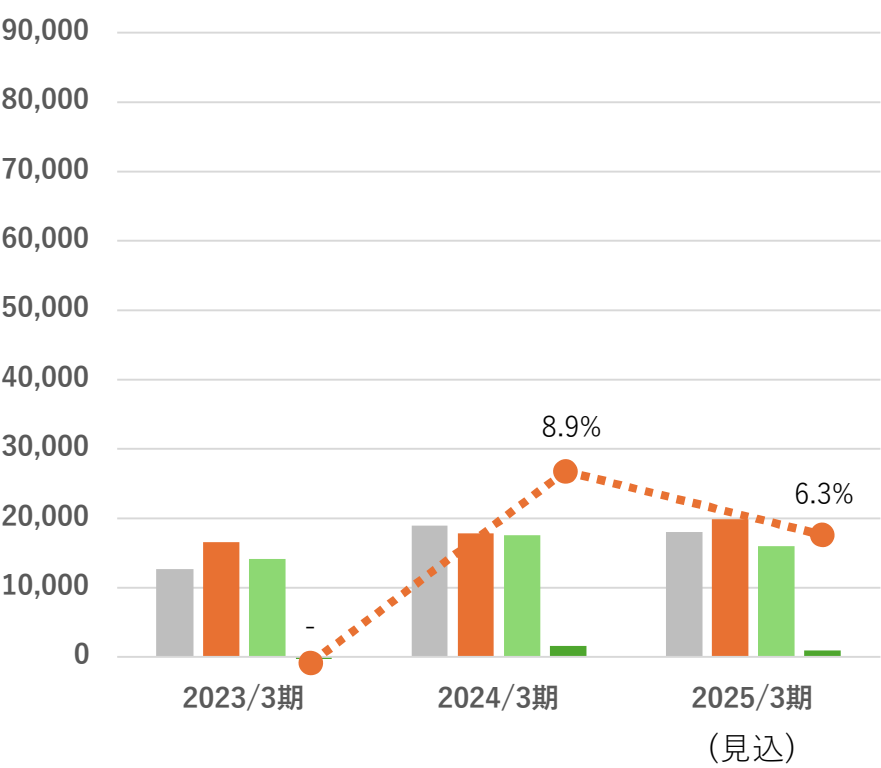
	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期 (見込)	増減(率)	
				23-24年	24-25年 (見込)
受 注 高	36,879	31,516	34,000	△5,362 (△14.5%)	2,484 (7.9%)
期 末 受 注 残 高	49,100	45,184	43,184	△3,916 (△8.0%)	△2,000 (△4.4%)
売 上 高	35,035	35,432	36,000	396 (1.1%)	568 (1.6%)
営業利益	2,067	2,891	2,300	824 (39.9%)	△591 (△20.4%)
営業利益率	5.9%	8.2%	6.4%	2.3ポイ ント	△1.8ポイ ント

※棒グラフは左から受注高、期末受注残高、売上高、営業利益、折線グラフは営業利益率を示します。セグメント間の取引は相殺消去しておりません

2025年3月期 業績見込み ③建築セグメント

物流倉庫需要は継続。運送業の2024年問題を背景に、生産地・主要消費地間において当社システム建築の強みを生かせる中規模中継基地のニーズあり。その他多くの引き合いあるも、大型物件を複数抱える中、社内外の担い手不足でリソース制約顕在化。選別受注を徹底し利益率向上図る

(単位：百万円)



	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期 (見込)	増減(率)	
				23-24年	24-25年 (見込)
受 注 高	12,719	18,936	18,000	6,217 (+48.9%)	△936 (△4.9%)
期 末 受 注 残 高	16,526	17,862	19,862	1,335 (8.1%)	2,000 (11.2%)
売 上 高	14,158	17,601	16,000	3,442 (24.3%)	△1,601 (△9.1%)
営業利益	△423	1,574	1,000	1,997 (-)	△574 (△36.5%)
営業利益率	-	8.9%	6.3%	-	△2.6ポイ ント

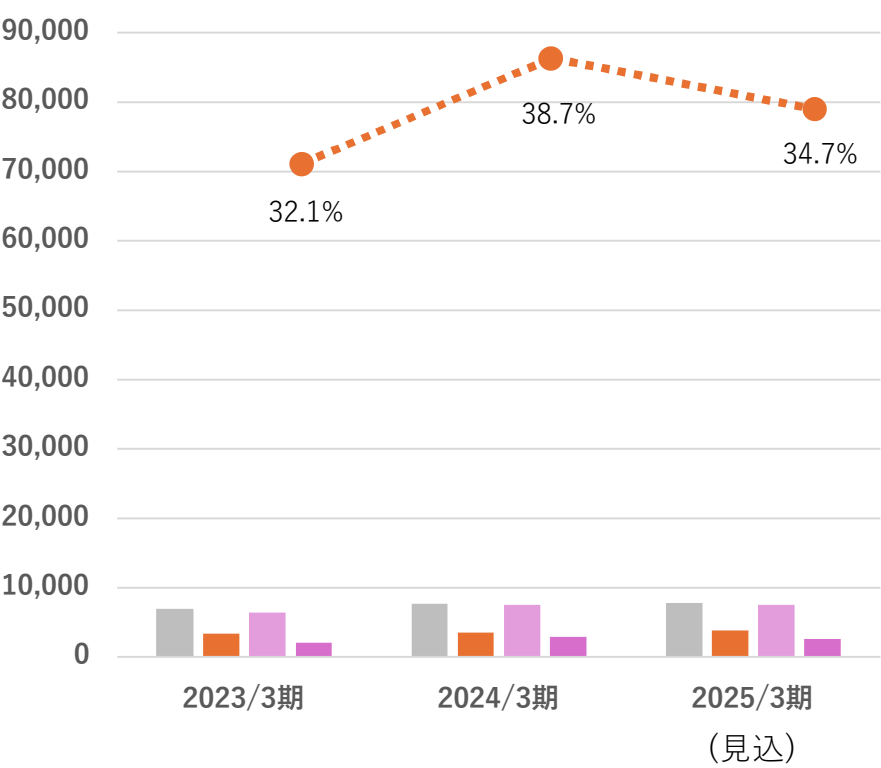
※棒グラフは左から受注高、期末受注残高、売上高、営業利益、折線グラフは営業利益率を示します。セグメント間の取引は相殺消去しておりません

2025年3月期 業績見込み ④ソリューションセグメント

ソフトウェア関連事業：3次元CAD・情報共有クラウドサービスなど自社製品引き続き好調、業界の「デファクトスタンダード」を目指す。新たな取り組みにも邁進し更なる成長企図

ロボット関連事業：自動化・省人化需要は根強いが、販売苦戦。パッケージ化で使い易さ向上目指す

(単位：百万円)



	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期 (見込)	増減(率)	
				23-24年	24-25年 (見込)
受 注 高	6,922	7,692	7,800	699 (10.0%)	108 (1.4%)
期 末 受 注 残 高	3,355	3,498	3,798	140 (4.2%)	300 (8.6%)
売 上 高	6,371	7,550	7,500	1,178 (18.5%)	150 (2.0%)
営業利益	2,047	2,919	2,600	871 (42.6%)	△319 (△10.9%)
営業利益率	32.1%	38.7%	34.7%	6.6ポイ ント	△4.0ポイ ント

※棒グラフは左から受注高、期末受注残高、売上高、営業利益、折線グラフは営業利益率を示します。セグメント間の取引は相殺消去しておりません

4. 配当方針の変更、配当予想ほかについて

配当方針変更・配当予想について

18 / 20

- ・当期より中間配当制度を導入。2024/9/30を基準日に**1株当たり45円の中間配当**を実施
- ・**期末配当**は業績上方修正に伴い**1株当たり55円**へ（通期100円、株式分割後換算で前期比31円減）
- ・11/12付で配当方針変更：「**非経常的な特殊要因により親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する場合、その影響額を除外して配当額を決定することがある**」
→キャッシュフローの裏付けのない会計上の利益に基づく配当は、安定的な事業運営、成長可能性を棄損し、長期的には株主の皆様の利益を損ねると考えるもの
- ・第3次中期経営計画期間（2023年4月～2026年3月）については、1株当たり年間90円の下限保証

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 (予想)
当 期 純 利 益	4,231百万円	7,541百万円	6,900 百万円
1 株 当 期 純 利 益	239.94円	434.06円	398.96 円
1 株 当 た り 配 当 額	70円	131円	100 円 うち、中間45円
配 当 性 向	29.2%	30.2%	25.1% (30.2%)
配 当 総 額	1,234百万円	2,256百万円	1,729 百万円

※カッコ内の数値は
非経常的な特殊要因
による影響を除き
算定したものです

※当社は2024/4/1付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度以前の数値は表示期間期首に株式分割が行われたとの仮定により算定しています。2025年3月期株式数は2025年3月期中間期末数(自己株式を除く)によります。
また、配当性向は「1株配当額÷1株当期純利益」によります。

トピックス① PC事業における業務提携

19 / 20

当社連結子会社の「川田建設株式会社（土木セグメント）」と
「株式会社IHIインフラ建設」が、
PC橋部材の生産を相互に委託する業務提携契約を締結しました

※2024/10/1プレスリリースにより公表済

川田建設が「栃木県」「大分県」に、
IHIインフラ建設が「滋賀県」に工場を保有。
→ 3つの工場の協力体制で本州全域を効率よくカバー

■期待できる効果

- ・ PC橋部材の生産協業によるコスト削減
- ・ 生産部材の輸送コスト削減
- ・ 輸送時間短縮による工期の短縮
- ・ 運送業界の2024年問題への対応 など



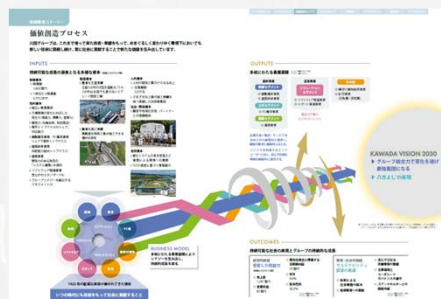
トピックス② 川田グループ統合報告書の発刊

20 / 20

2024年11月 川田グループ統合報告書を発刊しました。皆さま是非ご覧下さい！



(P3～)
ますます広がる
川田のビジネスフィールド



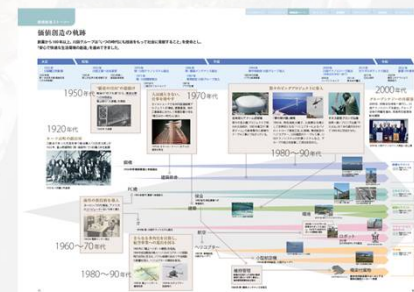
(P15～)
多岐にわたる事業が
協働しシナジーを創出



(P7～)
KTI社長 川田が経営への
思いを熱く語ります！



(P23～)
各セグメントのリーダーが
各事業状況をご説明



(P13～)
鉄工所として創業し、多くの
事業を展開する企業群へ成長



(P39～)
サステナビリティについて
取り組みをご紹介

※こちらからご覧頂けます https://www.kawada.jp/ir/integrated_reports/



(参考) 過去5年間の主な業績指標

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 中間期
売上高	127,048	115,545	103,760	118,086	129,127	66,430
営業利益	6,759	5,565	6,412	5,025	8,734	4,801
経常利益	8,543	8,048	7,689	6,298	10,538	6,443
親会社株主に帰属する当期(中間)純利益	6,449	6,340	5,176	4,231	7,541	5,017
1株当たり当期(中間)純利益(円) ※	366.23	359.10	292.54	239.94	434.06	290.82
自己資本当期純利益率(%)	11.3	10.1	7.6	5.8	9.6	6.0
総資産経常利益率(%)	6.4	5.6	5.5	4.3	6.5	4.0
売上高営業利益率(%)	5.3	4.8	6.2	4.3	6.8	7.2
総資産	139,093	147,408	133,337	162,158	160,216	163,265
純資産	60,630	66,964	71,921	76,697	82,341	85,792
自己資本比率(%)	43.0	44.8	53.2	46.6	51.1	52.2
1株当たり純資産(円) ※	3,395.07	3,740.50	4,009.61	4,288.11	4,753.28	4,931.86
営業活動によるキャッシュフロー	△4,126	△2,547	20,391	△9,673	13,320	△5,038
投資活動によるキャッシュフロー	△2,764	△4,183	△1,948	△1,504	△2,553	△1,197
財務活動によるキャッシュフロー	5,535	8,220	△15,811	12,213	△10,337	4,781
1株あたり年間配当金(円) ※	26.67円	26.67円	33.33円 (うち記念配当6.67円)	70円	131円	100円 (うち中間45円)

※ 2024/4/1株式分割が表示期間期首に行われたものと仮定によります

本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性について保証するものではありません。また、本資料に記載される当社グループの計画、見積、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断または考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、経済情勢、業界の市場動向、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

<お問合せ先>

川田テクノロジーズ株式会社 経営管理部
ir.kti@kawada.jp

